

電子写真機變愛

第二夜

ちびっちゃくてもニッコール装着可能。小型軽量高画質、ニコン1J5というアドバンテージ。

機能性は？

なんといっても約60コマ/秒の最強の連写番長。これほど連写が出来るカメラはニコン1以外しばらく登場しないだろうと思われる。4Kテレビすげえ！といってもあちらは切り出した一枚約800万画素。ニコン1J5なら全コマ2081万画素。多彩な動画モードで4K動画はもちろんタイムラプス動画まで対応。



惚れドコロは？

歴代それぞれにすぐれたデザインを感じさせるニコン1ですが、ことJ5ときたら男心のくすぐりどころを心得ている。私情満々で申し訳ないがココ、このロゴからレンズマウントにかけてのラインが「うぐっ」とくるポイントですわたり。



画質は？

それほど撮影感度を上げずにすむ条件下ではならぬ他のデジタル一眼レフカメラと画質において遜色はみられなかった。むしろ気軽に携えてパチリとできる軽快さと一眼レフらしからぬ気安さから、一般的な撮影であればこちらのJ5のほうがより自然な描写が可能かもしれないと写真家が衝動がったりを嘆く結果に。



高感度は？

「えー、これISO6400なの？これがISO6400？うそ！ホント！まじで！」とどれもが一礼二問三驚する高感度描写力を備えたJ5の実力。確かに業務用本格一眼レフと比べてはいけませんが、コンパクトカメラ然としたサイズと小さなセンサーサイズからしたら誰もが二拍手最敬礼。



ニコン
ニコン1 J5
ダブルレンズキット

有効画素数：2081万画素
背面モニター：3型約104万ドットチルト式
撮影可能枚数：約250コマ
NFC対応Wi-Fi機能装備
価格：オープン（実勢74000円前後）

製品写真 / 油科康司(W.P.P)

なんと申しませうかいいちキャラクターが掴めないというかそういつたアイテムがしばしば身の回りに登場します。しかし、テールの一輪挿しに飾られた花のように、あるとその場が潤うというか華やかというか、無骨な男子には理解のおよばざる粒という部分がおじやりました……。

たとえば、いま私が手にしているニコン1 J5。業務で使用するにはセンサーサイズが小さすぎる気がしますし、かといって愛好家が楽しむにしてもボリュウム感が足らず、使い倒すというよりもこのJ5の佇む景色を楽しむ、そういう境地に入りそうですな。金属を多用したボディの質感はニコンの往年の銘機たちの系譜をしっかりと感じさせ、意外なことこのJ5で初めてニコン1 Jシリーズに採用されたというコマンドダイヤルは直感的な操作性をもちながらカメラとしてのデザインをぐっと引き締める効果も備え、シンプルながらもモダンなデザインは素直に「格好いいなあ」とおじさんの心を掴みます。そう、いっそ「愛でる」というカテゴリーに含んでしまってもいいかもしれませぬ。しかしながら機能性能パフォーマンス面で手を抜いた様子もみあたらない……否、どちらかといえば意欲的な機能をじゃんじゃん搭載してきているのであります。たとえば新開発の裏面照射型CMOSセンサーは実に2081万画素も画素サイズでありまして、この大画素化は完全に「一眼レフを食いにきて」といっても過言ではありませんし、実際食らいつきか

けられて……逃げて、マイクログフォ……まあ本格一眼レフですらオーバー2000万画素を実現したのはこの最近でありますのに、このサイズで2000万画素オーバーとはまさに日進月歩、テクノロジーの進化は恐ろしいです。この大画素センサーを司る画像処理エンジンも新規の「EXPEED 5A」を搭載し、フォーカス追従連写は約20コマ/秒。通常撮影での連写は最高約60コマ/秒を誇り、そのオートフォーカス機構は画面内171点で高精度のピント合わせを可能にしました。

さらにこの画像処理エンジンの恩恵は続き4K撮影も可能になったのであります。もつこれは可愛いとか愛でるとか言えたレベルではございません。小さくてこの機動力は巨人を駆逐する立体機動ナントカを腰に備えたおとぎの国の調査兵団戦闘員のような戦闘力でありもつす。

で、この本格的な実力を備えたニコン1 J5なのであります。遊び心方面も充実しています。ニコン1初となる自分撮りができるタッチ式チルト式液晶モニターは賛否両論ございませうが、あつて悪いもんじゃねえレートのときにはすげえ武器だぜ、試してみなよ若いの。スマホとは一味違う魅力があるのさ。

そして事業発生時にはニコン自慢の8つのメイクアップ効果でモテカアップ「美肌」「小顔」「肌トーンアップ」……まで必須のモテカ！ さらに「歯のホワイトニング」「キラリ白い歯」「クマ軽減」で健康美顔力向上。さりげなく「チーク」「ホワイトアイ」で細やかな

こんな写真に變をする

1 NIKKOR VR 10-30mm f/3.5-5.6 PD-ZOOM

歴代のニコン1シリーズでももっともメリハリの利いた色調と感じるJ5。ナチュラルなトーンをもちやす風潮もありましょうが、おじさんとしてはこれくらいキッパリしてほがグッとくる。なおこのVR 10-30mm レンズと高速度化されたフォーカスポイントを持つJ5との組み合わせであればシャッターを押してAF作動開始からリリースまでの時間が世界最速。感動と映像にタイムラグ無し(手ブレ補正機構搭載)

撮影データ
絞り:F5.6
シャッター速度:1/100秒
感度:ISO800
焦点距離30ミリ(換算81ミリ相当)



1 NIKKOR 18.5mm f/1.8

容赦のないきっちりした描写力の1 NIKKOR 18.5mm f/1.8はトンビがお魚ひつつかんでゆくタイミングをドンピシャ！ それも当然です。なにせ秒間約20コマで撮影しました。ほぼすべての大型一眼レフを凌駕した撮影速度であります。しかもこのうえ更に「約30コマ/秒」で撮影できます。驚くのはまだ早い「約60コマ/秒」も究極奥義として存在。もはやニコン1 J5にはシャッターチャンスなど存在しませぬ。そう、すべてを漏れなく写しますJ5。

撮影データ
絞りF3.5(オート)
シャッター速度1/1600秒(オート)
感度ISO160
撮影モード・スポーツ
撮影速度約20コマ/秒



写真と文 織本知之

テレビカメラと各種報道カメラマンが入り乱れる現場でたまにお仕事があります。で、この天然パーマ(俺が)よくよくレポーターカメラを持って行くと業務用真剣カメラのそばでフワラさせたりするんでね本気カメラマンがギョリッって睨んで怖かったりするんですがニコン1ならなせかニッコー、ほっこり癒し系よ。



フォロワーを發揮。そして優しく包みこむような「ビク愛」……訂正「ビクアイ」でトドメだぜ兄弟。「誰これあたし？」ってなるよイケないからそれぞれの効果が3段階で加減OK。おのおの方におかれましては各員奮迅のうえモテワークを駆使して戦果をあげてくれ。武運を祈る。

ではカメラは決まった、レンズはさてどれがいい？ という人におススメしたいのがニコン1 J5ダブルレンズキット！ 1 NIKKOR VR 10 30mm f/3.5-5.6 PD-ZOOMにこだわりの単焦点1 NIKKOR 18.5mm f/1.8を組み合わせた満足度MAXのキットであります。

10-30mm f/3.5-5.6は35ミリ判換算27ミリから81ミリ相当の手ブレ補正機能搭載ズームレンズで、パワーズームと自動開閉のレンズバリアが使いやすい万能な一本ですが、今回のイチ押しレンズは大口径単焦点の1 NIKKOR R 18.5mm f/1.8。

35ミリ判換算で50ミリに相当する標準レンズの王道たる焦点距離をもち、開放f値は1.8というボカし前提の傑作レンズ。このレンズの楽しみ方は簡単です。目に映る森羅、日常の万象すべてを絞り開放でどうぞ。するとあらゆる議論、奥行のある立体感を感じるなんとも一眼レフらしい写真がバシバシ撮れます。巨艦「ジ」一眼を向こうに回し、傑作をモノにする小回りの利いた小気味良いカメラに仕上がりました。

さあいまこそ進撃のJ5！